

復している様子が観察できる。そして成長した薬用植物は、地域の住民や医師の求めに応じて、安価で提供されている。

[参考文献] ・SUMITHRAARACHCHI, D.B. (1986) Landscape Design for the Proposed Medical Plant Nursery Kalupahana Estate. 60 pp. ・SHAKYA, Puspa (1991) Development of Medicinal Plant Garden at Kalupahana, Haputale, Sri Lanka. SRL TRM 002 WHO SEARO. pp. 1~3. ・ATTYGALLE, John (1994) Sinhalese Materia Medica. Lake House Bookshop. pp. 52, 59~60, 64, 71. ・Department of Ayurveda (1994) Osuthuru Wisithuru. vol. 1 : pp. 196~198, vol. 2 : pp. 57~60, vol. 3 : pp. 190~194, vol 4. : pp. 135~ 138, 251~257.

---

#### 図書紹介.....

◎ハイチの重要な樹木 (TIMYAN, Joel : Bwa Yo - Important Trees of Haiti. 1996. ix+418 pp. South-East Consortium for International Development, Washington, D.C. 価格不明)

Bwa-yo は樹木のクレオール語 pye bwa yo の短縮形だそうであるが、ここでいうクレオール語は、ハイチなどの西インド諸島で白人移民が使う言葉らしい。本書の第1部では、クレオール名で挙げられた木材用樹種(9)、果樹(4)、最近の外来樹種(4)、計17種の樹木について、シノニム、重要性、分類・植物学的特性、分布と生態、樹木としての特性、利用、繁殖法、バイオマス、成長、育種などの項目にわけて解説している。第2部には、病害虫(精疎はあるが86種、一部は属)、木材の性質とエネルギー値(表)、薬用々途(表)、バイオマスと材積表、樹木の地方名と学名(約1,100種)およびハイチの樹木のクレオール語名、樹木の諺(英ク対照)が集録されている。本書はUSAIDが支援したアグロフォレストリー・プロジェクトの成果の一つらしいが、大変な労作である。第1部の樹種解説には多くのカラー写真も添えられている。(浅川澄彦)